

早期消化管癌に対して内視鏡治療を受けた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 早期消化管癌に対する内視鏡的粘膜切除術後の排尿困難の発生リスクについての検討

研究の目的

本研究では早期消化管癌(食道癌、胃癌、十二指腸癌、大腸癌)に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(endoscopic submucosal dissection; ESD)を受けた患者さんを対象として、ESD後の尿が出にくくなったり全くでなくなったりする要因を明らかにすることを目的とします。

入院前から前立腺肥大症などで加療中の方以外にも、このような症状を生じる患者さんがおりますが、その原因ははっきりわかっていません。

そこで、このような症状を生じた患者さんの情報を集め、その要因を検討します。

研究実施期間： 実施許可日 ~ 2030年 3月 31日

対象となる方： 2014年1月から2029年12月31日までの期間に弘前大学医学部附属病院で早期消化管癌(食道癌、胃癌、十二指腸癌、大腸癌)に対する内視鏡治療を受けた患者さん

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

2014年1月から2029年12月までに当科で早期消化管癌に対する内視鏡治療を受けた患者さんの情報を後ろ向きにカルテから得ます。

当院のカルテに記録されている情報のうち、年齢、性別、基礎疾患、内服薬、男性患者さんでは術前のCT検査における前立腺の評価、内視鏡診断結果、内視鏡治療の結果(病変大きさ、治療時間、治療中に使用した薬剤の種類や量)、血液検査結果について、標記研究課題実施のために利用します。

尿がでにくくなった患者さんの群と、問題なかった患者さんの群において上記内容を比較します。

なお、氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、個人を特定できない形式にして上記データを使用します。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	附属病院消化器内科、血液内科、免疫内科 立田哲也 連絡先電話番号 0172-33-5111
--------------	--